

# 行政の窓



## 平成28年 特用林産統計について



### 【特用林産物全体】

平成28年における道内の特用林産物の生産額（以下、推計額）は、全体の95.6%を占めるきのこ類が増加したことにより、総額は約116億円（前年比103.3%）と4年ぶりに前年を上回りました。

### 【きのこ類】

平成28年のきのこ類の生産額は約111億円（前年比103.2%）、生産量は19,155トン（前年比107.0%）といずれも前年を上回りました。このうち、道内で最も生産量の多い「生しいたけ」（原木及び菌床）は生産額約53億円で前年とほぼ同額でしたが、生産量は7,614トン（前年比105.5%）と前年を上回りました。

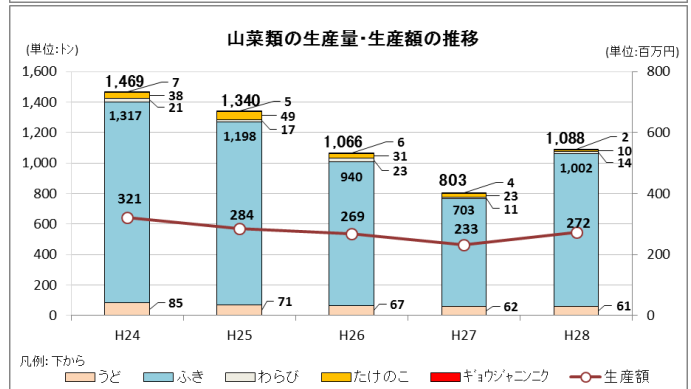
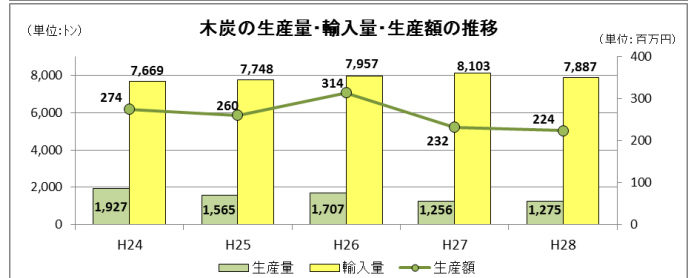
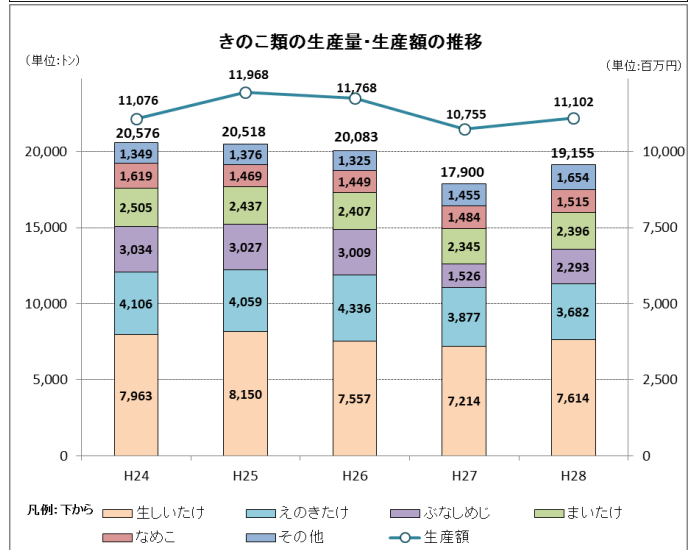
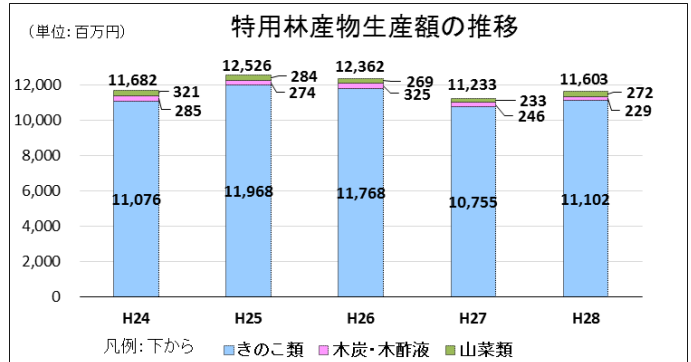
また、ぶなしめじは、平成27年の工場火災により、生産量が減少しましたが工場が再建されたことなどから生産量が回復に向かっています。

### 【木炭】

平成28年の木炭の生産量は1,275トン（前年比101.5%）と前年を上回りましたが、生産額は224百万円（前年比96.6%）と前年を下回りました。また、輸入量も前年を下回っています。

### 【主な山菜類】

道内における山菜類の生産量は、天然物の採取が中心のため、天候に左右される傾向にあり、平成28年は天候に恵まれ、生産額が272百万円（前年比116.7%）、生産量が1,088トン（前年比135.5%）といずれも前年を上回りました。



(水産林務部林務局林業木材課流通加工グループ)